



理事長退任にあたって

新戸部八州男

このたび任期を満了し理事長の席を退かせていただくことになりました。思えば2009年、まさかの全部連会長に就任させていただき、公益法人改革を前にして2011年に協同組合へと移行、全部協理事長への就任という、まさに青天の霹靂が続くことになるとは夢にも思いませんでした。何分、力不足の自分ではありましたが、

目の前のことに、ただただ必死になって取り組んできたように感じます。

全部協の前身である全部連は部品商の地位向上を目的に設立されました。全部協はその精神を受け継ぎながら、「健全な自動車部品市場の形成を通して、組合員企業の成長と繁栄を実現し、組合員全従業員の物心両面の幸福を追求するとともに併せて、安全快適な車社会の発展に貢献する。」という経営理念を掲げて活動してまいりました。

いまだ理想とはかけ離れた状況ではありますが、経済産業省製造産業局自動車課のご指導のもと、役員、事務局、組合員、賛助会員と、大勢の皆様のおかげで今日まで運営することができました。感謝以外の言葉が浮かびません。

全部協は道半ばではありますが、私はこのような多くの企業が加盟する団体の長はあまり長くその座に留まるべきではないと、かねてよりお伝えしてまいりました。特定の人間の色がつくと改革への機運が薄れ、マンネリに陥りやすくなるを考えるからです。それでも創設期、団体として運営の目処が立つまでは責任を持ってやり遂げなくてはという思いで続けさせていただきました。財政面ではまだまだ脆弱ではありますが、会議体、事務局体制、事業のプラットフォームなど役員や委員の皆様方のご協力によりひとつの形を作ることができたのではと自負しております。

ここでさらなる事業展開を見据えて、理事・総代の皆様方のご同意のもと、森川部品株式会社代表取締役 森川等氏へ新理事長を託したいと存じます。

総代・理事をはじめとする組合員の皆様におかれましては森川新理事長を一丸となって支え、部品商の地位向上と、組合員企業の成長と繁栄に向かって突き進まれることを祈念申し上げます。最後にジョン・F・ケネディの言葉を添えさせていただきます。

「国があなたのために何をしてくれるのかを問うのではなく、

あなたが国のために何を成すことができるのかを問うて欲しい。」

Ask not what your country can do for you; ask what you can do for your country.

長年にわたります皆様方のご厚情に心より感謝申し上げますとともに今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

令和2年6月22日